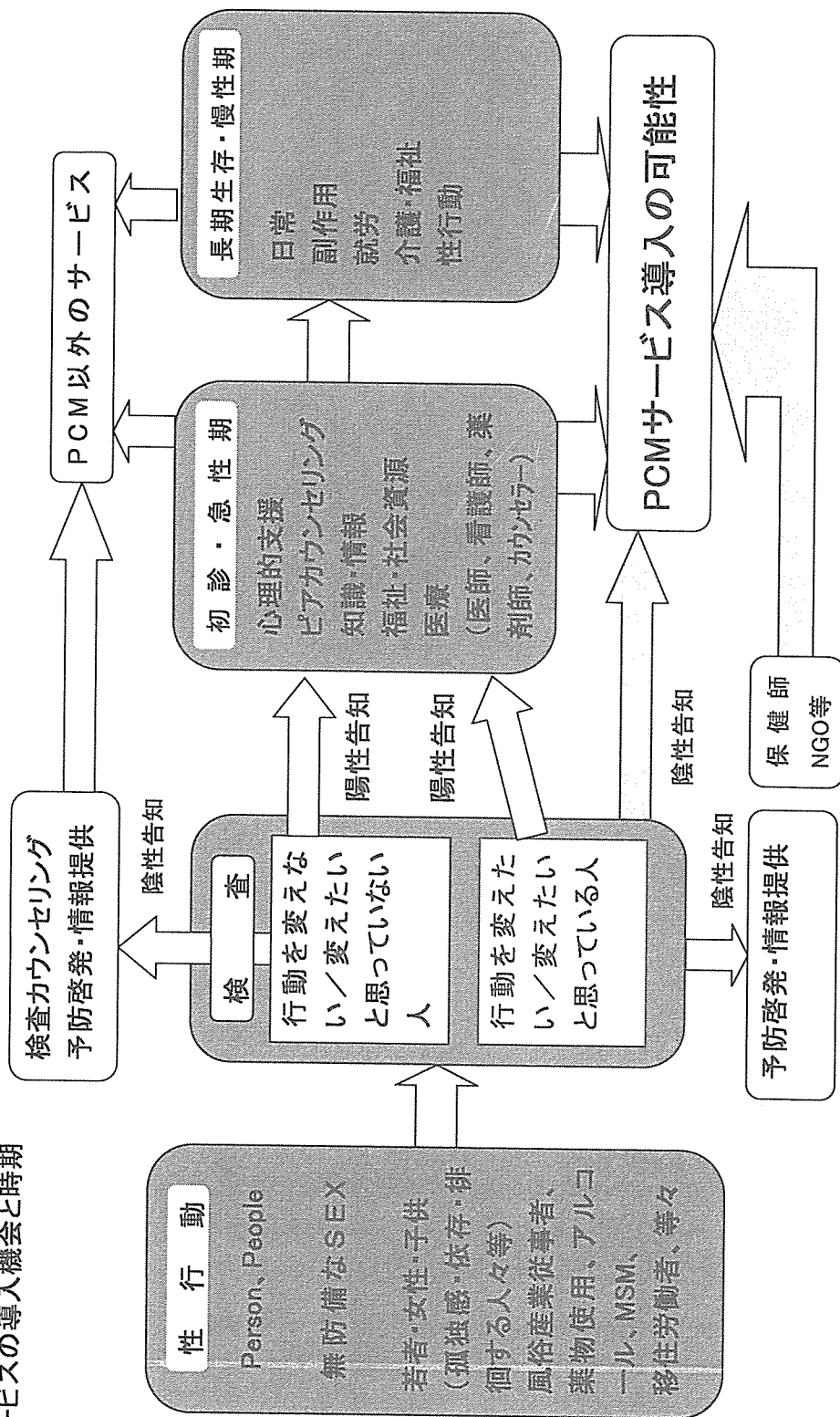
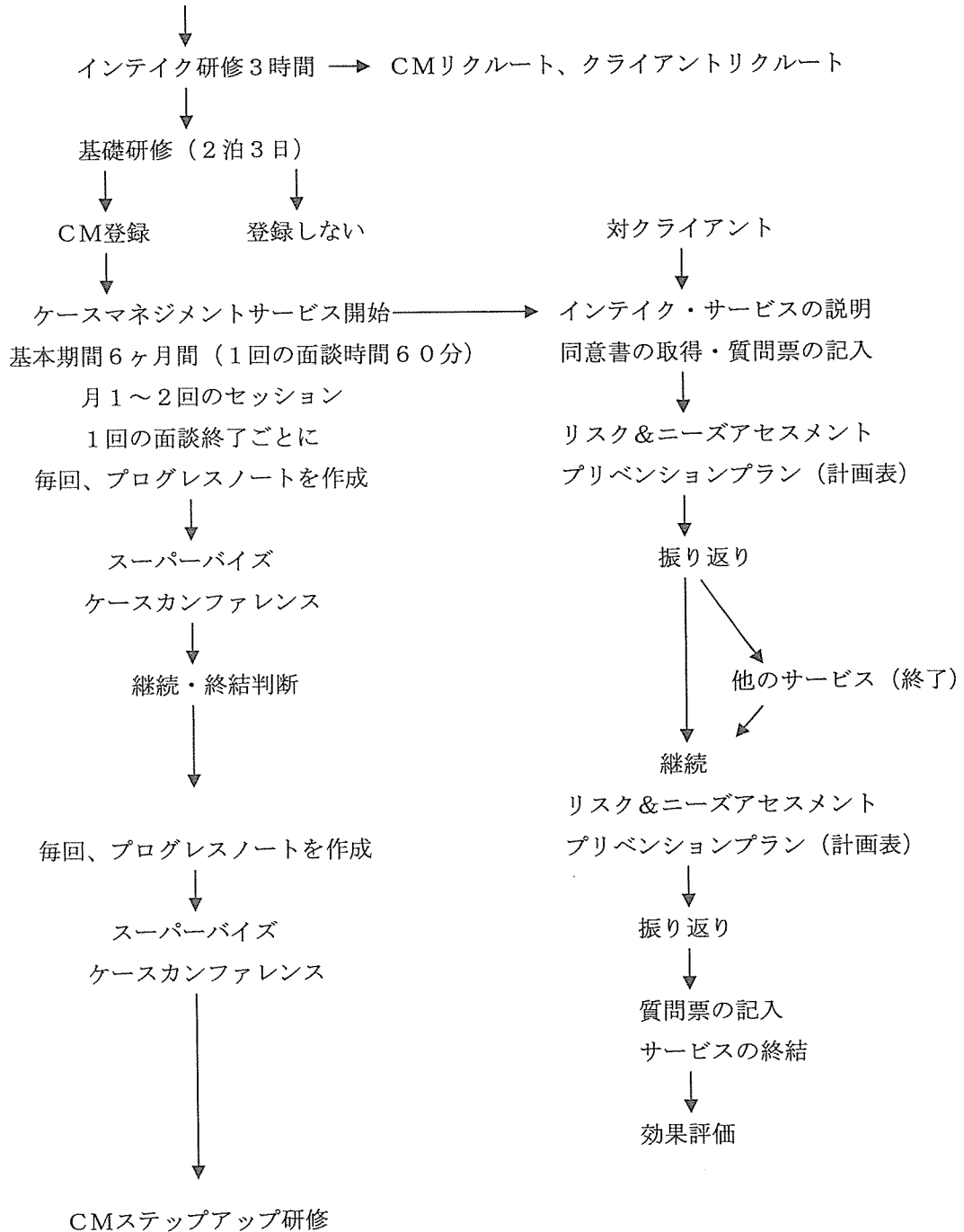


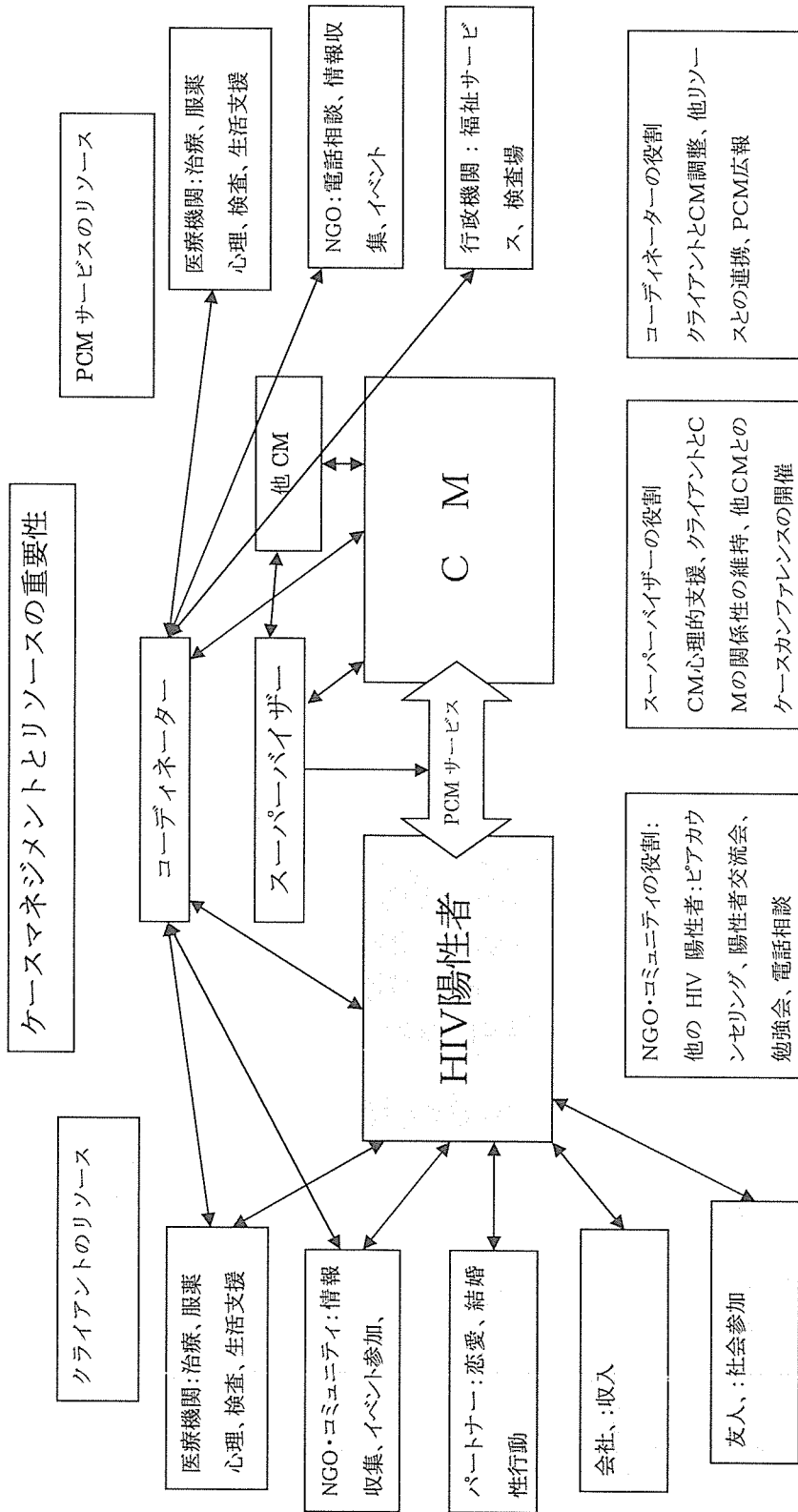
PCMサービスの導入機会と時期



## PCM サービス全体の流れ

ケースマネジャー（以下CM）養成研修





### オープンクエスチョン(インテイク)

CM:こんにちは。このサービスは、HIVに感染したことで負ってしまったリスクを考えながら、あなたの健康な性行動をするため一緒に考えていくプログラムです。話せることは遠慮なくお話し下さい。また、こちらからも質問などもしていきますので、答えて下さいね。

まず、ご自身がHIV陽性者だということを受けとめてられていますか。

クライアント:そうですね。検査を受けて陽性がわかったんですけど、最初は信じられなくて、どうしていいか、わかりませんでした。誰にも相談もできないし、このまま死ぬのかと思いました。

CM:そうだったんですか。相当辛かったですね。今は少し落ち着いたのですか？

クライアント:はい、そうです。

CM:それは、どのようにして落ち着いたか、聞かせてもらっていいですか。

クライアント:はい。さっきも言いましたように検査で告知を受けまして、一応病院は紹介してもらったんですけど、どうしても不安でネットでいろいろ調べてみたんです。そしたら、いろいろな団体があって、その中で電話相談をやっている〇〇という団体がありまして、電話してみたんです。

感じがよかったので、色々話しているうちに、少し気が楽になって...

CM:そうですね。それってあなたはがんばりましたね。なかなか自分でことを起こすというのは難しいと私は思うのですよ。そこで、このサービスを紹介されたんですね。

クライアント:はい。落ち着いてみたら、これから一生セックスができないのかなあと思っています...

CM:セックスをやめる必要はないですよ。

このサービスは、まずあなたの健康を守ることが大切と思うのです。HIV陽性者というと、どうしても感染させる人という印象があって、感染させないためにコンドームを使いなさないという話はよくあるのですが、実はHIV陽性者の無防備なセックスは自分が負うリスクが多く、人に感染させるという問題より重要であつたりするんですよ。

クライアント:えっ？そうなんですか？

CM:あなた自身の体調が悪ければ、HIV以外の性感染症に感染させられたり、HIVの薬が効かないHIVに二重に感染させられたりすることもあるかもしれません。先ほど、驚かれたようですが、今話を聞いてどう思いますか？

クライアント:...

## パラフレーズ

CM:今日は、あなたの性行動について少し話を聞かせていただきたいと思うのですが、いいですか。

クライアント:いいですよ。

CM:あなたは、今セックスをすることに対してどのように思っていますか。

クライアント:実は、あまりセックスのことを考えられないというか、自分がHIVに感染してしまって、すごく後悔しています。

CM:今後悔しているといいましたけど、その辺のところを、もう少し詳しく聞かせてもらえますか。

クライアント:今思うとHIVは新聞とかで患者が増えているみたいなことは聞いたことがありますが、まさか、自分が感染するなんて思ってもみませんでした。

CM:そうですね。

クライアント:今までは、コンドームも使ったことなかったし、はっきり言ってHIVなんて関係ないと思っていました。まさか、自分が感染してしまって、今度は自分が感染させてしまうんじゃないかと不安で...

CM:あなたの後悔というのは、コンドームを使わなかったことですね。

クライアント:はい。それで、自分がHIVになってしまって、いつか病気で死んでしまうと思うととても結婚なんてできないし、病気のことも言えないし、どうしていいかわかりません。

CM:結婚ができないことが大きな問題なんですね...

クライアント:そうなんですよ...

クライアントセンター

CM:今回は、あなたとパートナーとの関係についてお聞きしたいのですが、いいですか。

クライアント:はい。実は私には妻がいます。今回、HIVに感染してしまって今後どうしたらいいのかわかっています。

CM:悩みというのは具体的にどんなことが聞いていいですか。

クライアント:私がHIVになってしまったことで、私自身、病気になって死ぬかもしれないし、働けなくなったら生活ができなくなり妻に迷惑をかけるし、もしかしたら妻に感染させてしまうかもしれない不安があります。そして実はちょっといいにくいのですが、前にハッテン場に通っている時期があって、今の妻はそのことを知らないし、全くいっていないんですよ。

CM:そうですね。いろいろと将来のこととか、奥さんへいえないということがあると自分で抱え込んでしまいますね。それと、HIVに感染したことは奥さんにご存知なんですか？

クライアント:いえ、全く知りません。全く話していないので、最近は何となくセックスを避けてしまっている気がします。妻は少し様子が変わっているかもしれません。それに、将来的に、HIV感染の事実をいわなきゃいけないとは思っているのですが、...

CM:そうですね。いくつものことが重なってつらいところですね。

クライアント:はい...

#### ハームリダクション

CM: 長期目標として「セーフセックスを意識してコンドームをいつも携帯できるようにする」、短期目標として「コンドームいつも持ちやすいグッズを手に入れる」をプリベンション・プランとして立てましたが、目標は達成できていますか。

クライアント: 実は、いつも持って歩いているわけではありません。携帯するためにケースを買い、街に遊びに行く時には、いつもカバンに入れておくようにしているんですけど、今日バッグが違うので忘れてしまいました。すみません。

CM: いや、あやまらないで下さい。だいたい何%くらいは持ち歩けていますか？

クライアント: 7割くらいですかね。

CM: そうですね。以前のあなたなら、コンドームなんて使ったこともないし、気持ちが萎えるからいらないといっていましたね。それが今は、携帯ケースを買って、バッグに入れておけるようになったのですよ。それって、あなたにとっては大きな変化だと思いませんか。

クライアント: ああ、そうですね。

CM: 二人で決めた行動計画では、いつも持ち歩くことを目標にしていたけど、100%ではないけれども、ちゃんと意識して、持てるようになったことには自信を持っていいのではありませんか。

クライアント: わかりました。

## ケースマネジメントスキルとしての知識の使用とリソースの活用

CM:あなたはPCMサービスを通じて、健康な性行動ができるように健康を守るために行動をしてきましたけど、今、何か聞いておきたいことがありますか？

クライアント:そうですね。私はHIVのことについては、ネットで調べて〇〇という電話相談とかはしたことありますけど、他の陽性者の方はどういう風に暮らしているか興味があるんですけど。

CM:そうですね。他の陽性者の方を、知りたいということですか。

クライアント:そうですね。一度、同じ陽性者の方と話してみたいという気持ちもありますけど...

CM:このPCMサービスに関してはあくまでも私とあなたという1対1のサービスですので、こちらのサービスでは同じ陽性者の方を紹介することはできないのです。

以前お聞きした、あなたが電話相談をした団体には、問い合わせてみましたか。

クライアント:はい。いることはいるらしいんですけど、相手の方のプライバシーとかデリケートな問題があるらしくて、すぐに紹介とかいかないそうです。

CM:そうですか。PCMサービスの協力団体にHIV陽性者の方が参加できるイベントがありますので、参加してみますか。一度確認してからの話しですけども、調整を取ってみることはできますよ。

クライアント:ぜひ、お願いします。私だけでは、同じ陽性者の方とか知りませんし...

CM:こちらのコーディネーターと確認の上、次のセッションまで繋ぐことが可能かどうかを含めてこちらで調整してみます。



## 同意書

### ■はじめに

当サービスは、りょうちゃんずがHIV陽性者によるHIV陽性者支援の立場から、HIV陽性者がHIVを感染させる媒体という発想ではなく、無防備な性行動をすることにより受けるリスクをできるだけ回避するために、行動を変えようとするHIV陽性者に対する支援である。

しかしながら、アメリカから来たこの手法が日本では取り組んだ団体がないため、効果実績が明確化されていない。

HIV感染症の動向と予防モデルの開発・普及に関する社会疫学的研究班(主任研究者:木原正博)におけるHIV感染予防介入の実践方法論としての「プリベンション・ケースマネジメント」の理解と導入に関する研究(分担研究者:藤原良次)において、過去3年間モニター研究を行ったことにより、一定の評価が出たものの課題も、また残った。

若者等におけるHIV性感染予防に関する学際的研究班(主任研究者:木原雅子)において引き続きHIV陽性者の性行動変容に特化したPCMサービスを行うこととなった。

### ■サービスの紹介

具体的なサービスはクライアントが性行動を変えようとするとき、阻害するもの、必要なものをケース・マネジャーと双方で考え、実際の計画にのっとり、クライアントが行動することを支援するサービスである。

その行動の積み重ねがクライアント自身の自信になり、サービスの終了時にはクライアントが自主的に行動を変えることができるはずである。

クライアントに関わるケース・マネジャーは、自身が持っている知識・情報・経験に加え、りょうちゃんずが持っている知識・情報・経験や、様々なリソースを活用し、クライアントの行動変容にクライアントを中心に臨むことを約束します。

このサービスは毎回1時間程度のセッションを持ち、3回を1サイクルとし、2サイクル6ヶ月間行うものとする。

このサービスにおいて行動変容ができないと考えられたり、他のサービスによって行動変容が可能であると気づいた場合は、サービスをいったん中止することができる。

上記を理解したうえで、サービスに取り組むことに同意します。

クライアント: \_\_\_\_\_ 日付: \_\_\_\_\_

上記を理解した上で、出来る限り最良のサービスを提供するよう努力します。

プリベンション・ケースマネジャー: \_\_\_\_\_ 日付: \_\_\_\_\_

## 質 問 票

記入日： \_\_\_\_\_ クライアントID： \_\_\_\_\_ Base Line / Evaluation

### 質問1

あなたの性別は？                      男性                      ・                      女性

### 質問2

あなたの年齢は？                      \_\_\_\_\_ 歳

### 質問3

あなたの住んでいる地域は？

1. 北海道ブロック    2. 東北ブロック    3. 関東甲信越ブロック    4. 東海ブロック    5. 北陸ブロック  
6. 近畿ブロック    7. 中国・四国ブロック    8. 九州ブロック    9. その他

### 質問4

職業について（もっとも近いものに○をつけてください）

1. 会社員    2. 公務員／団体職員    3. 派遣・契約社員    4. 自営業    5. フリーター    7. 自由業    8. 学生  
9. 無職    10. その他（                      ）

### 質問5

セックスの対象は？

1. 男性のみ    2. 主に男性のみ    3. 女性のみ    4. 主に女性のみ    5. 男女同じくらい  
6. その他（                      ）

### 質問6

次の文章で、「正」か「誤」あるいは「？」（わからない）に印を付けてください    正    誤    ？

1. 現在、新しい抗ウイルス薬で延命治療が出来るようになった			
2. 健康に見えてもH I Vに感染していることがある			
3. H I V抗体検査では感染後2～3日で感染しているかどうか分かる			
4. 注射器の回し打ちはH I V感染の可能性がある			
5. どの性交渉でも、血液や精液などの体液との接触があればH I V感染の危険性がある			
6. 性感染症は感染すると必ず症状が出る			
7. 性感染症にかかっているとH I Vに感染しやすい			
8. 蚊や他の虫に刺されるとH I V感染の可能性がある			
9. コンドームの使用はH I V感染を予防する			
10. コンドームの使用は梅毒などの性感染症を予防する			
11. フェラチオでも性感染症に感染することがある			
12. 保健所では無料・匿名のH I V検査を行っている			

質問7

セックスの経験についてお聞きます。

ここで言うセックスは、膣性交／アナルセックス／フェラチオを意味します

- 1. 経験がある
- 2. 経験がない
- 3. 答えられない

前の質問で「経験がある」と答えた方は、相手について教えてください。(いくつでも)

- 1. 妻・夫
- 2. 恋人
- 3. 特定のセックスフレンド
- 4. 出先で知り合ったいきずりの人
- 5. 風俗店
- 6. ネット・出会い系
- 7. その他 ( )

質問8

過去6ヶ月で何人の男性とセックスをしましたか？

- 1. していない
- 2. 1人
- 3. 2～10人
- 4. 11～20人
- 5. 20人以上

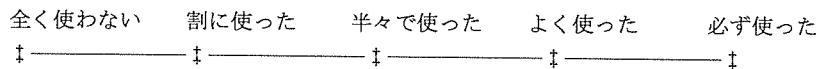
質問9

過去6ヶ月で何人の女性とセックスをしましたか？

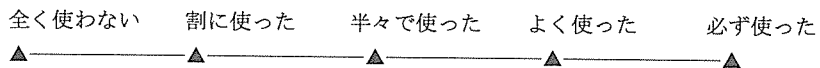
- 1. していない
- 2. 1人
- 3. 2～10人
- 4. 11～20人
- 5. 20人以上

質問10

A. 過去6ヶ月間、恋人やセックスフレンドなど特定の人とセックスをした時、どのような割合でコンドームを使用しましたか？



B. 過去6ヶ月間、恋人など特定の人以外のいきずりの相手とセックスをした時、どのような割合でコンドームを使用しましたか？



質問11

セックスをする時のコンドームの使用に関してお聞きます。あなたの気持ちとして一番近いものに○をつけてください。

A. セックスをしようとする時、「コンドームを使おうよ」と言えそう

- 1. 全く言えそうでない
- 2. 言えそうにない
- 3. 言えそう
- 4. 言える自信がある

B. セックスの相手が「コンドームは使いたくない」と言えば、話し合うことが出来そう

- 1. 全く出来そうにない
- 2. 出来そうもない
- 3. 出来そう
- 4. 出来る自信がある

C. 相手が「コンドームなしでセックスしようよ」とせまってきても、それを拒否出来そう

- 1. 全く出来そうにない
- 2. 出来そうもない
- 3. 出来そう
- 4. 出来る自信がある

D. 性的に興奮したり気分がのってくると、コンドームを使うのが難しく感じる事がある

- 1. 大変難しく感じる
- 2. 難しく感じる
- 3. そんなに難しく感じない
- 4. 全く難しく感じない

質問 1 2

あなたが持っているコンドームのイメージについての質問です。あなたが一番近いと思うものに○をつけてください。

A. コンドームを使うと、セックスの快感が減ってしまう

1. そう思う      2. そういうことはあるかもしれない      3. そんなことはないと思う      4. 全くそんなことはない

B. コンドームを店で買うのは恥ずかしい

1. そう思う      2. そういうことはあるかもしれない      3. そんなことはないと思う      4. 全くそんなことはない

C. コンドームはセックスのすべての楽しみを奪ってしまう

1. そう思う      2. そういうことはあるかもしれない      3. そんなことはないと思う      4. 全くそんなことはない

D. コンドームを使うのは、いろんな病気や望まない妊娠から、あなたや相手を守るために適切な方法だ

1. そう思う      2. そういうことはあるかもしれない      3. そんなことはないと思う      4. 全くそんなことはない

E. コンドームはセックスの途中で破れたり抜けたりしてしまう

1. そう思う      2. そういうことはあるかもしれない      3. そんなことはないと思う      4. 全くそんなことはない

質問 1 3

あなたの生活環境の中でのコンドームについての質問です。

A. 過去6ヶ月の間、コンドームをもらったり買ったりしたことがありますか

1. はい      2. いいえ

B. コンドームはあなたの家にありますか

1. いつもある      2. だいたいある      3. 半分くらいはある      4. あまりない      5. まったくない

C. セックスを前提として出かけるとき、どれくらいの頻度でコンドームを持っていますか

1. 全く持っていかない      2. 時々を持っていく      3. 半分くらいは持っていく      4. ほとんど持っていく      5. いつも持っていく

ご協力ありがとうございました。

## リスク&ニーズ・アセスメントのポイント

### ■健康／一般

クライアントの一般的な健康状態やそれに伴う医療サービスへのアクセスなどを含めたアセスメントを行います。

1. 現在及び慢性的な健康状態
2. 医療サービスへのアクセス
3. HIV抗体検査受検、最終受験日

### ■健康／HIV陽性の場合

HIV陽性のクライアントの場合、基本的な情報の提供を依頼し、クライアントの置かれている状況を把握する。

1. 最近の血液検査結果
2. 日和見感染歴
3. 結核検査の受検歴

### ■健康／女性の場合

上記の項目に加えて、次の事項に関する情報を入手する。

1. 最後の婦人科受診
2. 避妊方法
3. 妊娠歴

■HIV治療へのアドヒアランス／抗ウィルス剤などの治療を行っているHIV陽性者の場合  
複雑な薬の選択や服薬時間のアドヒアランス、薬剤耐性との折り合いなどに関する情報を入手する。

1. 抗HIV剤のアドヒアランス
2. 日和見感染の治療のアドヒアランス
3. アドヒアランスの阻害要因
4. アドヒアランスの促進要因
5. 複雑な治療を続ける能力と目的意識

### ■STD歴

STDの予防、診断、治療は第一次、第二次感染予防に重要な要因となります。とくに梅毒、B型肝炎、クラメジア、淋病についての情報は不可欠。

1. STD病歴
2. STD治療歴

### ■セックス一般

クライアントの性生活に関する包括的な情報は、リスク行動と深く関わっています。時間をかけながら、次の事項に関するアセスメントを行います。

1. セックスパートナーの数
2. 現在のパートナーとの性的な関係性
3. パートナーのHIV感染について

4. パートナーのリスク行動
5. セックス内容との頻度
6. 性的な虐待
7. セックスにおけるアルコール(あるいはドラッグ)の役割
8. コンドームの使用状況
9. コンドーム使用への阻害・促進要因
10. セイファーセックスに関する知識

#### ■HIV・STDに関する知識や情報

クライアントが持っているHIVやSTDに関する知識や情報は、クライアントが認知している自分自身のリスクと深く関わっています。クライアント自身の言葉を聞き出しながら、次の事項に関するアセスメントを行います。

1. HIVの感染経路
2. HIVを含む体液
3. HIVのウィンドウ・ピリオド
4. 抗体検査や陰性・陽性の意味
5. 抗体検査場に関する情報
6. STDとHIVの関連
7. STD一般に関する知識
8. HIVの薬や治療方法
9. コンドームの有効性

#### ■社会的環境とサポートネットワーク

クライアントのおかれている社会環境や周囲にどのような人間関係があるのかをアセスメントすることによって、リスク行動がとられる環境や影響を及ぼしている外的要因を明確にしていく。

1. 生活環境一般
2. 経済状態
3. 職業
4. 家族環境
5. 友人との関係性
6. パートナーとの人間関係
7. コミュニティーとのつながり
8. 既存サービス機関の利用状況
9. 社会資源の利用状況

#### ■HIV感染リスク低減のためのスキル

クライアントが次の事柄に関して、どのようなスキルを有しているのかをアセスメントする。

1. コンドームのイメージ
2. コンドーム・ネゴシエーションや性的主張
3. 生活環境の中でのコンドームのアベイラビリティ
4. コンドーム有効性への理解
5. コンドームの正確な使用方法への理解

クライアントID: \_\_\_\_\_

## リスク & ニーズ・アセスメント

あらかじめ記入してもらった「質問票」を参考にしながら、また別紙の「アセスメントのポイント」ふまえながら、クライアントとの会話の中でアセスメントを行い、その内容を記入してください。

アセスメントのポイント:

■リスク・アセスメント[No \_\_\_\_\_ ]

---

---

---

---

このリスクはクライアントの健康性に対してどのような重要度をもっていますか:

低い 高い  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

■ニーズ・アセスメント[No \_\_\_\_\_ ] (リスク・アセスメントと同じ番号を記入してください)  
上記のリスクを低減するためのニーズにはどのようなものが考えられますか:

ニーズ1:

---

---

ニーズ2:

---

---

ニーズ3:

---

---

それぞれのニーズを満たすための難易度はどれくらいですか:

低い 高い  
ニーズ1: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  
ニーズ2: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  
ニーズ3: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

コメント:

---

---

クライアントID: \_\_\_\_\_

## プリベンション・プラン(予防行動計画)

アセスメント No: \_\_\_\_\_ 作成年月日: \_\_\_\_\_

これまでのセッションでリスクの明確化と、その低減のためのニーズを確認してきたわけですが、ここで実際の行動計画を作成します。それぞれのアセスメントに基づいた「プリベンション・プラン」(予防行動計画)です。まず、長期目標を立てます。これは、1～3ヶ月くらいの期間で達成できると考えられ、リスクをかなり有効的に低減できるものとなります。そして、この長期目標に到達するために、短期間の目標を別個に設定してください。期間としては1週間から1ヶ月以内が目安となります。

■長期目標: 期限・期間: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

目標達成確認 ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

■短期目標1: 期限・期間: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

目標達成確認 ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

■短期目標2: 期限・期間: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

目標達成確認 ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

■短期目標3: 期限・期間: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

目標達成確認 ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

コメント:

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

このプリベンション・プランに取り組むことを同意します。

\_\_\_\_\_  
クライアント 日付

\_\_\_\_\_  
ケースマネージャー 日付



## プログレス・ノート

クライアントID : \_\_\_\_\_

■日時 : \_\_\_\_\_

■セッションの時間 : \_\_\_\_\_

■セッションの場所 : \_\_\_\_\_

■セッションの内容 :

---

---

---

---

■クライアントの言動で気がついたこと :

---

---

---

---

■プリベンション・プランの達成・変更 :

---

---

---

---

■提供した情報や紹介先 :

---

---

---

■その他 :

---

---

---

■セッションが終了した時点での感想 :

---

---

---

---

## クライアントからの評価

クライアントID: \_\_\_\_\_

まず、プリベンション・ケースマネジメントのサービスを受けられたわけですが、それぞれの段階における満足度と感想をお聞かせください。満足度とは、サービスを総合的に見て、全体に感じられる満足感あるいは不満というものです。1が大変不満だ、5は大変満足している、という5段階でお願いします。そして感想は、ご自分が感じられたものを正直に書いてください。

### 1. リクルートについて(クライアントとしての参加を勧められて承諾するまで)

大変不満だ 大変満足している  
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

良かったと感じたこと

改善して欲しいと感じたこと

その他

### 2. インテイクの時(サービスの説明、同意書の提出、質問票の記入などの説明を受けたとき)

大変不満だ 大変満足している  
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

良かったと感じたこと

改善して欲しいと感じたこと

その他

3. リスクアセスメントについて(ケースマネージャーと共同作業でリスクについて話し合ったとき)

大変不満足だ 大変満足している  
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

良かったと感じたこと

改善して欲しいと感じたこと

その他

4. ニーズアセスメントについて(リスクを低減していくためには何が必要かを話し合ったとき)

大変不満足だ 大変満足している  
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

良かったと感じたこと

改善して欲しいと感じたこと

5. プリベンション・プランについて(アセスメントに沿って、何をどう進めていくかの計画を立てたとき)

大変不満足だ 大変満足している  
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

良かったと感じたこと

改善して欲しいと感じたこと

その他

6. プリベンション・プランとの取り組み(実際に様々な計画と取り組んでいたとき)

大変不満足だ 大変満足している  
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

良かったと感じたこと

改善して欲しいと感じたこと

その他

7. サービスの終了時(どういふことを行ってきたかを振り返り、将来における取り組みを話し合ったとき)

大変不満足だ 大変満足している  
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

良かったと感じたこと

改善して欲しいと感じたこと

その他

8. ケースマネージャーの態度や言葉づかいについて

大変不満足だ 大変満足している  
1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

良かったと感じたこと

改善して欲しいと感じたこと

その他